

平成 18 年 度
事 業 報 告 書

江之子島コスモス苑

平成18年度事業概要

介護保険制度施行5年目の見直しで、4月から大幅な改正となり、今までの「介護サービス」と新たに軽度の人たちが対象となる「介護予防サービス」が創設された。「給付抑制」をし、介護保険財政の支出を減らすことが大きな目的であり、これに伴い介護報酬が引き下げられた。平成17年10月から前倒しで食費・居住費が利用者の自己負担となり、あわせて施設やサービス提供事業所の介護報酬も利用者負担になった分が引き下げられ、前年度から引き続き大幅な減収となりこのため今年度は今まで以上に厳しい運営となったが、各事業とも高い稼働率を目標に、職員一丸となり取り組み、支出を押さえる努力もした。

あらたに設けられた重度化加算、看取り加算に対応するため、看護師の夜間連絡体制の強化、看取りのための条件整備、また看護、介護職員の連携の強化などにも努めた。

身体障害者デイサービス事業については、障害者自立支援法の施行に伴い9月30日で廃止となり、10月1日より19年3月31日まで経過的デイサービス事業として実施し、段階的に利用者人数を減らし規模の縮小を図り、19年4月1日から地域活動支援センターとして継続実施をするための準備をおこなった。しかし大阪市との間で課題を残したままとなっている。

今年度も介護職員不足が解決されなかった。特に人件費を抑えるため非常勤職員の割合を増やしたいが思うようにはいかなかった。また非常勤職員の定着率が低いことも人手不足の一因であると思われる。「食事介助」、「入浴介助」とスポット的に非常勤職員を雇用し、なんとか補っているが、介護職員不足は業界全体の問題となっている

また若い女性が多い職場では、産休、育休等の取得が恒常的になってきていることも人員確保の難しさの一因でもある。

今年度は感染性胃腸炎（ノロウイルス疑い）の集団発生が起こり、保健所に届出を行い、管理医師、保健所の指示に従い消毒の徹底、職員・家族等にまん延防止の啓発、こまめな健康チェック等実施し、大事には至らなかったが、ショートステイの受け入れ制限などを行ったために運営にひびいた。

1. 特別養護老人ホーム事業

施設ケアマネージャーと、かかわっているスタッフとともに、利用者の個別のケアプランを作成し、一人一人の求めるサービスの提供に努めた。家族に説明をし、交付することは専任のケアマネージャーを配置することである程度はできたが、評価まではあまりできなかった。

(1) 生活相談

入所に際しては、介護保険制度及び契約内容を十分に理解していただくために、入所者及び家族の方々との話し合いを行い、日常生活及び家族関係等についての相談も行った。

(2) 身辺介護

①入浴、排泄

個々の状態に合った入浴方法でゆったりと入っていただき、顔見知りの職員が介助することにより安心して事故なく入っていただくため、フロアごとの入浴を実施できた。排泄についても自立を促すための努力をしたが、オムツの方を減らす取り組みは課題である。

②食事

ア 給食会議を毎月定期的に行い、入所者の嗜好調査に基づき、楽しい雰囲気の中でおいしく食事ができるように配慮し、選択メニュー、鍋料

理等季節感のある食事の提供に努めた。中でも毎月の駅弁は楽しみにされている。

イ 食事量の極端に少ない方には、独自の介護食、捕食等の検討を行い提供に努めるとともに、誤嚥の防止に努めた。特に水分補給については、形態も含め検討し、積極的に摂取してもらい脱水防止に努め、あわせて水分量を細かくチェックが出来た。

ウ 栄養マネジメントが加算の対象となり個別の栄養ケア・プランを作成し、一人ひとりの栄養状態等を細かく把握した。

エ 引き続き家庭的な雰囲気を味わっていただくため、小人数ずつ夕食にお好み焼きを提供しとても喜んでもらえた。また、焼きたてパンの提供も楽しみにしていただいた。

③健康管理

ア 日常の健康管理に努めるとともに、伝染性疾患の予防のため、インフルエンザの予防接種、レントゲン検診等定期的に健康診断を行った。

しかし、感染性胃腸炎（ノロウイルス疑い）の集団発生が起り、保健所に届出を行った。施設あげての消毒の徹底、細やかな健康チェックなどで大事には至らなかった。

イ 冬場の健康維持のため、湿度の確保に努め、熱発者を減らす努力をした。重度化に伴いより一層の医療と介護の連携を図るとともに入院者を出さないよう努めた。また、多根病院のペグチームの協力を得て、胃ろう（経管栄養）についても積極的に勉強会をし介護職員の質の向上を図った。また、夜間における看護師のオンコール体制の充実も図った。

ウ 管理医師と密に連絡をとりながら、入院については多根病院の協力を得、不安のない生活をしていただけるよう努めた。

エ 管理医師とともにご家族と十分話し合いをもち、看取りを希望された方についてはできるだけ対応するよう努力した。施設での最期が困難なケースもあったが施設での看取りが増えてきている。

オ 引き続き処遇困難な認知症老人については阿波座診療所の藤井先生に受診し、歯科については、中島先生に往診治療を行っていただいた。

④機能訓練指導

利用者のADL向上と、その人らしい生活が送れるよう、医師の協力を得、個別のプランに基づき機能訓練指導員を中心に看護師、介護士が訓練を行った。

日常生活の中で目的をもった離床を行い、朝の体操、レクリエーション等、楽しみながらの機能回復にも努めた。引き続き癒し犬とのふれあかも月2回に増やし充実を図った。

⑤教養娯楽

施設生活を潤いのある生活にするため各種の行事を実施した。また個人の希望を尊重し、少人数での外出を積極的に行うとともに、ご家族にも呼びかけ楽しいひとときを過していただいた。また各フロアごとの行事も楽しんでいただいた。

⑥地域交流について

地域ボランティア団体、小中学校、保育園等の見学、交流を行った。また、広教連合と高台連合の盆踊りに入所者とともに参加し、地区の方たちにも喜んでいただけた。

2. 居宅サービス事業

居宅サービス全般においては、大きな事故等もなく、地域の方々のニーズに応じたサービスを提供していく、より質の高いサービスを提供していく「在宅支援」の取り組みにより利用者に安心して利用して頂けるサービス提供ができた。

しかしながら、介護保険制度の改正、障害者自立支援法施行と居宅サービスの大きな転換期を迎え、特に採算面で課題のある訪問介護、身体障害者デイサービスの両事業については規模縮小へ取り組んだ。その結果、採算面での若干の改善が見られたが、なお一層の見直しなどの取り組みも次年度の課題となっている。

(1) 短期入所（ショートステイ）

ショートステイの利用が定着したなか、入院の空きベッドも活用し緊急時にも柔軟な対応（送迎を含む）で、高い数値目標を設定して取り組んだが、達成出来なかった。近くに老健、小規模多機能施設が増えたことと、福祉施設への入所や亡くなった方がおおく、担当者は営業活動を行い人数の確保に努力したが新たな利用者を確保し切れなかった。原因を分析し、利用者確保に努めたい。

昨年同様、ショート利用者も担当制にし、個別のケアプランを策定し、より細やかなサービスの提供ができ、トラブルを減らすよう努力するとともに、リピーターの確保に努めた。

(2) 通所介護（高齢者デイサービス）

365日営業も2年目を迎え、地域においても認知されつつあり、また、土、日の営業もおおよそ定員に達してきており、前年度の実績を押し上げる要因になった。個別ケアの充実、利用者同士の間人関係を重視したケアへの取り組み、職員との信頼関係など一つ一つが構築されてきており、安定した利用となっている。他に、暖冬と後述する予防の効果からか体調不良者が少なく、当日キャンセルも例年より少なかったことも売上げ増に寄与している。

今年度は、予防への取り組みを強化し、多根脳神経リハビリテーション病院から理学療法士派遣により、よりの確な運動療法プログラムが生まれ、成果をあげてきている。また、健口体操や食後のうがい・歯磨きを習慣化し、口腔機能の改善を図り、生活の質の向上へとつながっている。

他には、恒例となったお好み外出、お出かけランチもマンネリしないように行き先を変更し、毎年、より多くの方に参加していただき、好評を頂いている。

次年度は、今年度実施できなかった顧客満足度調査を実施すると共に3年後、5年後を見据えた戦略を立て、利用者ニーズの把握に努めるとともに満足を得られなかった点について改善し、信頼を得られるよう努力していきたい。また、家族などインフォーマルな繋がりも強化し、協力して地域での生活が途絶えないように在宅生活を支援していきたい。

(3) 身体障害者デイサービス

今年度は障害者自立支援法施行に伴い、制度が大きく変わった年であり、利用者、事業所ともども困惑した年であった。

平成18年10月からは送迎範囲を西区のみに縮小し、他区の利用者は送迎が可能な方のみサービスを提供するという形態をとった。それに伴い、利用者数が半減し、さらに介護保険サービスへ移行が可能な利用者は12月末の利用としていただいた。その結果、最終的に平成19年3月末には登録者数14名と大幅な減少となり、引き続き厳しい事業運営になっている。

事業内容としては外出の機会は昨年度より減らし、個別ニーズへの対応、生活介護、創作的活動といった利用者個々に合わせたプログラムに力を入れて取り組んだ。その結果、個別的対応の充実は図られた。

次年度は障害者自立支援法施行により身体障害者デイサービス事業の廃止に伴って市町村事業である「地域活動支援センター（B型）」に移行し、利用者ニーズにあったサービス提供をめざして一層取り組んでいきたい。

（４）在宅介護支援センター

今年度は介護保険制度の改正に伴い、在宅介護支援センター事業が西区包括支援センター総合相談窓口業務の委託へと変更された。ここ数年と同様に居宅介護支援事業への業務の比重が大きく、総合相談窓口業務の役割が十分に果たせなかった。

又、西区包括支援センターや地域各種関係者との連携および地域活動については、前年度と同様に対象地域における介護予防教室（介護予防について）を開催、さらに、大阪市委託事業である家族介護教室も開催、地域住民の方々ともかなり交流を図ることができた。次年度以降もこのような機会をより多く設けて継続して取り組みたい。

一方、居宅介護支援事業としては、介護支援専門員の定着により利用者に安心して頂けるセンターとなりつつあるものの、介護予防の導入に伴い、要介護から要支援へ更新される利用者が多く、例年通りの要介護状態の新規利用者の確保ができなかった。利用者の確保、介護支援専門員の質の向上が次年度の課題となっている

（５）訪問介護（ホームヘルプサービス）

事業の採算面においては、常勤職員、月給制職員を減らし、時給制のヘルパーを中心とした現ヘルパー利用状況に即した職員数の配置に努め、固定経費を減らした。しかしながら、収入面において、新規利用者数の伸び悩み、予防介護認定の利用者の増加により総派遣時間数及び派遣単価が伸びなかった。

今年度も事業の黒字化ができず、次年度への課題となった。

サービス内容の質の面においては、外部セミナー参加も含めヘルパーの研修会の強化及びケース会議を定期的に行い、安定したサービスを展開できた。

3. 診療所事業

前年度に引き続き特養入所者、ケアハウス入所者および職員の健康管理に努めた。又、前年同様にインフルエンザ予防接種を積極的に行い、特に感染症対策に努めた。

〔資料編〕

1. 特別養護老人ホーム事業

①入所者利用状況(H18.4.1～H19.3.31)

ア. 平均年齢 全体 男女別 (H19.3.31現在)

男性	20名・83.3歳	女性	83名・86.3歳	男女平均年齢	103名・85.7歳
----	-----------	----	-----------	--------	------------

イ. 日常生活動作調査(対象者103名) (H19.3.31現在)

区 分	移 動			食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助
実数(名)	6	43	54	36	34	33	6	36	61	3	21	79	6	59	38

区 分	整 容			意志疎通			寝返り			車椅子使用			認知症 老人数
	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	自 立	一 部 介 助	全 部 介 助	
実数(名)	8	49	46	23	52	28	41	12	50	4	27	57	78

②主な行事および活動

ア. 行 事

日 付	行 事 名	備 考
5月11日	3階ふれあい会	3階入居者28名と3階職員が一緒になって玉入れ、ビンゴゲーム、カラオケをしてアイスクリームを食べて楽しんだ。
5月18日	4階ふれあい会	4階入居者29名と4階職員が三味線を聞きながら、職員が浴衣を着て抹茶をたてて、ゆっくりした時間を過ごした。
5月 8日～15日	バラ園散策	韮公園のバラ園で季節を感じてもらおう 入居者25名参加
6月21日	鉄板まつり	楽しい模擬店の雰囲気の中かで、たこ焼き・焼きそばをおやつとして提供。
6月25日	5階ふれあい会	5階入居者30名と連絡して来られた家族さんと一緒に職員が作っただんじりを引き、歌謡ショーを見ておやつを一緒に食べて楽しんでもらう。家族さん同士の交流もあった。
7月 7日	七夕祭り	笹飾り作成。 各フロアで七夕にちなんだレクリエーションを行なう。
7月12・19日	すいか割り	夏の風物詩のすいか割りを楽しんでいただく。
8月18・24日	地域の盆踊り	島津公園・南堀江公園の盆踊りに参加する。 入居者17名参加

8月26日	夏まつり	模擬店、盆踊り、カラオケ等入所者・家族・地域の人々・理事・評議員を招待し、ボランティア、地元女性会の協力を得て、楽しんでいただく。
8月31日9月5・12日	花火	各階ごとに夏の風物詩の花火を楽しんでいただく。
9月4日	関市長来苑	関市長が敬老月間で民間の老人福祉施設訪問にあたり、入居者のお祝いに来られる。入居者60名参加。
9月17日	敬老祝賀会	民謡 定成会 司会は中川 享氏(江戸堀連合振興町会長)
9月25日 10月16日	大阪城公園へ外出	家族と一緒に大阪城公園へ外出 入居者12名参加 ご家族2名参加。
10月15日	学生相撲世界選手権見学	学生相撲世界選手権見学に行く。相撲の好きな入居者5名参加。
11月13・14・15日	秋の味覚まつり	秋の味覚の石焼いもを食べながら季節を感じていただく。
11月7・8・9日	鮭祭り	鮭職人に来て、各階ごとに目の前で握ってもらい、握りたてのお鮭を食べていただく。
12月15・18・19・25日	クリスマス料理	各フロアで鉄板を使用しステーキ料理を行なう。
12月24日	クリスマス	クリスマスソングの合唱と演奏とショートケーキを食べる
12月27日	ぜんざい	ノロウィルスが流行しており餅つきを自粛し代替行事としてぜんざいをおやつとして提供。
平成19年 1月1日	新年祝賀会	おせち料理と施設長挨拶 お屠蘇で祝う(1・2日)
1月1・5日 6・8日	初詣	茨住吉神社に初詣(13名参加)
1月10・11・12日	鏡開き	各階ごとに鏡餅を切りぜんざいに入れて食べていただく。
2月3日	節分(豆まき)	節分の紙芝居のあと、入所者が赤鬼にカラーボールをぶつける
3月28・29・30日	鮭祭り	鮭職人に来て、各階ごとに目の前で握ってもらい、握りたてのお鮭を食べていただく。

※11月・1月・2月に鍋料理

毎月2回以上の行事食提供

毎月第1火曜日に誕生日会

入居者全員に少人数で年2回お好み焼きと年1回冷やしそうめん提供

イ. ホーム喫茶

管理栄養士が中心となり、毎週水曜日(理髪日、行事のある日は除く)に、1階喫茶コーナーにてオープンし、毎回30～40名程の方が楽しみに利用される。チケット制にし、飲み物、お菓子(和菓子・ケーキなど)を用意し、50円で提供している。

ボランティアの伊野隆子様・松本良子様には昨年に引き続き毎回協力いただいている。

ウ. 面会・外出・外泊状況集計表(H18.4.1～H19.3.31)

月平均面会回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
65名	10名	13名	4名	4名	4名	8名

外出回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	1名	2名	4名	6名	9名	81名

外泊回数

24回以上	～12回	～6回	～3回	～2回	～1回	～0回
0名	0名	1名	0名	1名	2名	99名

エ. 自衛消防訓練等実施状況

年 月 日	内 容	備 考
平成18年 7月24日	自衛消防訓練(6F配膳室昼間想定)	消火・通報・避難・誘導訓練
平成18年12月15日	自衛消防訓練(6F配膳室昼間想定)	消火・通報・避難・誘導訓練

2. 居宅サービス事業

①ショートステイ事業

・実施状況 (H18.4.1～H19.3.31)

	開設日数	実利用人数	延利用人数	送迎	1日平均	平均介護度
年間合計	365	630	4929	1831	13.5	2.816
月平均	30.4	52.5	410.8	152.6		

②高齢者デイサービス

ア. 利用者状況 (H18.4.1～H19.3.31)

	開設日数	実利用人数	延利用人数	送迎	入浴	給食
年間合計	365	1,237	8,432	14,628	6,305	8,312
月平均	30.4	103.1	702.7	1,219.0	525.4	692.7

イ. 利用者数推移表 (H18.4.1～H19.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末利用者数	98	102	100	98	100	99	105	105	106	108	111	104

ウ. 利用者の状況 (H19.3.31現在)

	一人暮らし世帯	高齢者世帯	子供(家族)と同居	その他	合計
合計	25	16	63	0	104

エ. 主な行事

- ・お花見 (土佐稲荷) : 3月27日(月)～4月9日(日)
- ・お好み外出 (韮公園・世界ばら会議) : 5月11日(月)～17日(日)
- ・外出ランチ (回転寿司) : 5月22日(月)～28日(日)
- ・外出ランチ (レストラン) : 6月12日(月)～18日(日)
- ・鉄板祭り : 6月21日(水)
- ・お好み外出(心斎橋そごう) : 6月26日(月)～30日(金)
- ・七夕週間 : 7月3日(月)～9日(日)
- ・西船場小学生とのふれあい : 7月10日(月)
- ・外出ランチ (回転寿司) : 7月10日(月)～16日(日)
- ・お好み外出(天保山大観覧車) : 7月24日(月)～30日(日)
- ・夏祭り週間 : 8月17日(木)～23日(水)

- ・敬老週間：9月11日(月)～17日(日)
- ・お好み外出(水上バス)：9月25日(月)～10月1日(日)
- ・運動会：10月9日(月)～15日(日)
- ・お好み外出(黒門市場と100円ショップ)：10月23日(月)～29日(日)
- ・お好み外出(箕面紅葉ドライブ)：11月20日(月)～26日(日)
- ・クリスマス会：12月18日(月)～24日(日)
- ・年忘れ紅白歌合戦：12月25日(月)～31日(日)
- ・初詣(茨住吉神社)：1月1日(月)～14日(日)
- ・節分：1月29日(月)～2月4日(日)
- ・梅見(西九条公園)：2月26日(月)～3月11日(日)

オ. 誕生日会

- ・毎月開催(500円程度のプレゼントと誕生日カードを渡す)

カ. クラブ活動

- ・毎月第3週に計算・算盤、書き方、折り紙、手芸、娯楽の各クラブ活動を実施

③身体障害者デイサービス

ア. 利用者状況(H18.4.1～H19.3.31)

	開設日数	実利用人数	延利用人数	送迎	入浴	給食
年間合計	207	343	1,969	3,150	1,318	1,440
月平均	17.3	28.6	164.1	262.5	109.8	120.0

イ. 利用者数推移表(H18.4.1～H19.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月末登録者数	44	44	44	39	43	39	20	18	17	11	12	12

ウ. 利用者の年齢別・性別状況(H19.3.31現在)

	～19歳	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～	合計
男性	0	2	0	0	2	0	1	0	5
女性	0	0	3	1	3	2	0	0	9
合計	0	2	3	1	5	2	1	0	14

エ. 平均年齢 全体 男女別(H19.3.31現在)

男性	5名・46.2歳	女性	9名・47.6歳	男女平均年齢	14名・47.1歳
----	----------	----	----------	--------	-----------

オ. 利用者の身体状況(H19.3.31現在)

	肢体1級	肢体2級	肢体3～6級	視覚	聴覚	内部	その他	合計
合計	6	4	1	1	0	2	0	14

	生活自立	準寝たきり	寝たきり	合計
合計	12	1	1	14

カ. 主な行事

- ・選択による外出行事：6～7月 映画鑑賞(あべのルシアス)
- ・夏祭り：8月26(土)
- ・西区民まつり：11月5日(日)
- ・クリスマス会：12月19日(火)～22日(金)
- ・初詣(茨住吉神社)：1月9日(火)・12日(金)
- ・お花見(土佐稲荷)：3月27日(火)・3月30日(金)

キ. 誕生日会

- ・該当者のいる月に開催(利用者全員で誕生者に、バースデイソング合唱・プレゼントを贈りケーキでお祝いした。)

ク. お菓子作り

- ・平成18年4月～9月末まで月2回実施。平成18年10月～平成19年3月末まで月1回実施。3時のおやつとして利用者・職員協力のもとお菓子作りに取り組んだ。

④在宅介護支援センター(居宅介護支援事業含)

(1)在宅介護支援センター事業

ア. 相談事業実施状況(H18.4.1～H19.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.4
相談延件数	2	3	2	1	3	5	6	5	3	1	7	3	41	3.4

イ. 相談内容(H18.4.1～H19.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
家族・家庭問題	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0.1
経済・生活問題	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.0
介護サービス	1	2	2	1	3	2	4	4	1	1	5	1	27	2.2
介護予防サービ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.0
介護予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
福祉サービス	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	0.2
保健医療サービ	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	6	0.5
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
生きがいづくり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.0
合計	2	3	2	1	3	5	6	5	3	1	7	3	41	3.4

(2)居宅介護支援事業

ケアプラン作成状況(H18.4.1～H19.3.31)

	作成 件数	平均 介護度	要支援 1・2	経過的 要介護	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
年間合計	1,774	1.39	290	249	568	330	175	101	61
月平均	147.8	1.39	16.3	14.0	32.0	18.6	9.9	5.7	3.4

⑤訪問介護(ホームヘルプサービス)

ア. 利用者状況(H18.4.1～H19.3.31)

	実利用人数	生活援助	身体介護	派遣時間計
年間合計	698.0	6,057.0	1,662.5	7,719.5
月平均	58.1	504.8	138.5	643.3

イ. 平均年齢 全体 男女別(H19.3.31現在)

男性	10名・81.9歳	女性	46名・82.4歳	男女平均年齢	56名・82.2歳
----	-----------	----	-----------	--------	-----------

ウ. 利用者の状況 (H19. 3. 31現在)

	一人暮らし 世帯	夫婦のみ 世帯	子供家族 と同居	未婚の子供 と同居	その他	合計
合計	33	9	1	2	11	56

3. 診療所事業

ア. 診療報酬請求件数 (H18. 4. 1～H19. 3. 31)

	入所者	職員	その他	合計
年間合計	1103名	33名	15名	1151名
月平均	100.4	3.0	1.3	104.7

イ. 健康診断実施状況 (H18. 4. 1～H19. 3. 31)

	入所者	職員	ケアハウス	合計
年間合計	206名	156名	31名	393名
月平均	18.1	13.3	2.6	33.9

ウ. インフルエンザ予防接種実施状況 (H18. 4. 1～H19. 3. 31)

入所者	職員	ケアハウス	職員家族	合計
94名	126名	15名	57名	292名

4. その他

(1) 研修状況

・人権研修

日付	研修名	研修内容	参加者
平成18年 12月15日～ 25日	人権研修	ビデオ映写 【私たちと人権－職場編－】	施設長以下計41名

・施設内研修

日付	研修名	研修内容	参加者
平成18年 4月26日	AEDの取り扱い 方法について	突然の心停止から命を救 うAEDの取り扱いにつ いて講習を受ける。	施設長以下計65名
5月24日	食中毒について	食中毒の原因となる細菌 と予防について	施設長以下計21名
6月28日	老人施設職員の心 得	老人施設に勤める者として の基本的な姿勢等について	施設長以下計30名
7月26日	夜間ケアモデル事業 の報告	平成17年度実施した夜 間ケアモデル事業につ いて成果と課題を報告	施設長以下計25名
8月30日	高齢者福祉施設に おける介護事故に 関する研究	高齢者福祉施設における 介護事故に関する研究 発表を行う	施設長以下計24名
9月27日	モチベーションアッ プセミナー	介護職向のやる気をあげ るため、外部講師を招き、 セミナーを受ける。	施設長以下計48名

10月25日	インフルエンザについて	インフルエンザの症状、特徴、予防等について	施設長以下計29名
11月29日	基本動作の効率的な方法について	理学療法士を招き、実演含め、講義を受ける。	施設長以下計31名
1月24日	完全な入浴方法(リスキネゼット)	入浴方法について、講義を受ける。	施設長以下計13名
2月27日	豊かな感性と接遇	豊かな感性をもつことと接遇について、外部講師による講義を受ける。	施設長以下計41名
3月28日	認知症の理解	ビデオ鑑賞	施設長以下計19名

・施設外研修

施設外研修として、各種上部団体主催の研修会にできるかぎり参加。その結果、大阪府社会福祉協議会、大阪市健康福祉局など計40の研修に参加した。

(2) ボランティア・実習生・見学者受入状況

・ボランティア受入状況

①特別養護老人ホーム

摘 要	人 数
ホーム喫茶(毎水曜日)	2名
造幣局桜の通り抜け	1名
夏祭り(模擬店・盆踊り・介助)	31名
ハンドマッサージ(1日間)	4名
琉球舞踊(1日間)	5名
おもちゃ作り(1日間)	11名
ハーモニカ演奏(毎月誕生会)	1名

②通所介護(高齢者デイサービス)

摘 要	人 数
花見(土佐稲荷神社6日間)	のべ16名
お好み外出(鞆公園2日間)	のべ2名
お好み外出(心斎橋そごう3日間)	のべ6名
お好み外出(天保山大観覧車1日間)	1名
盆踊り(7日間)	のべ21名
お好み外出(水上バス4日間)	のべ5名
お好み外出(100円ショップ3日間)	のべ3名
お好み外出(紅葉ドライブ3日間)	のべ5名
初詣(10日間)	のべ30名
梅見(12日間)	のべ19名
ハーモニカ演奏(毎月誕生会)	1名
話し相手・お手伝い(家裁紹介)	3名
語り講釈(3回)	1名
うた楽バンド(7回)	2名
歌体操(43日間)	のべ70名
ハーモニカ演奏(毎月誕生会)	1名

ハンドマッサージ(1日間)	4名
西区の歴史語り(7回)	のべ10名
懐メロ(6回)	5名
三味線(4回)	8名
日本舞踊(3回)	5名
日本民謡(3回)	5名
安木節(3回)	1名
フラダンス(2回)	10名
沖縄三線(2回)	10名
オカリナ(2回)	4名
サインダンス(手話ダンス)(2回)	3名
バイオリン(2回)	1名
ギター	4名
朗読(紙芝居)	4名
大道芸	3名
腹話術	1名

③身障デイサービス

摘 要	人 数
夏祭り(送迎同行)	11名
パソコン教室(毎週1回)	2名

・実習生受入状況

学校等の名称	実人数	のべ人数	内容(資格等)
関西学院大学	2名	46名	社会福祉士
関西福祉科学大学	1名	23名	社会福祉士
日生看護専門学校	15名	29名	正看護師
関西社会福祉専門学校	9名	180名	介護福祉士
(有)シニアケアスタッフ	7名	29名	ホームヘルパー1級
(社団)大阪市母と子の共励会	2名	6名	ホームヘルパー2級
大阪YMCA国際専門学校	5名	13名	ホームヘルパー2級
(有)クオリティピュアスクール	6名	13名	ホームヘルパー2級
8機関	47名	339名	—

・体験学習

- ①平成18年11月15日 大阪市立花乃井中学校2年生 2名
- ②平成18年12月18日～19日 大阪市扇町高等学校2年生 1名
- ②平成19年 2月 8日～ 9日 大阪市立西中学校2年生 4名

・見学受入

お年寄りとのふれあいを兼ね、近隣の小学校や保育園児に来て頂く。
江戸堀女性会29名、その他に15名の見学者を受け入れた。

寄付金(平成18年度分：日付順)

年月日	団体名・氏名	関係	金額	備考
平成18年 5月16日	藤原 キヨ様	入所者 家 族	200,000	法人の運営費に充当
平成18年 7月22日	高乗 美枝様	入所者 家 族	200,000	法人の運営費に充当
平成18年 8月26日	山本 壽一様	監 事	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成18年 8月26日	西区老人クラブ連合会 会長 檉原 章様	地 域	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成18年 8月26日	大阪プラムライオンズク ラブ様	地 域	10,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成18年 8月26日	エルベ振興町会様	地 域	5,000	夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成18年 8月26日	宮 成介様	評議員	5,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成18年 8月26日	筒井 千恵子様	評議員	10,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成18年 8月26日	原田 和子様	入所者 家 族	30,000	特養夏祭り祝金 夏祭り経費に充当
平成18年 9月 7日	江戸堀女性会様	地 域	10,000	法人の運営費に充当
平成18年 9月13日	川上 幸雄様	入所者 家 族	30,000	法人の運営費に充当
平成18年 9月17日	民謡 定成会様	地 域	50,000	法人の運営費に充当
平成18年10月20日	山邊 フジ様	入所者 家 族	100,000	法人の運営費に充当
平成18年11月16日	市川 牧様	入所者 家 族	20,000	法人の運営費に充当
平成18年12月15日	榊幸和ドラッグ様	法 人	200,000	法人の運営費に充当
平成18年12月19日	大阪市民生委員 児童委員連盟西区支部様	法 人	30,000	法人の運営費に充当
平成19年 2月 1日	住友生命保険相互会社様	法 人	63,000	法人の運営費に充当

寄付物品(平成18年度分：日付順)

年月日	団体名・氏名	関係	物品名・個数	備考
平成18年 8月19日	榊錢高組様	法 人	ビール券×10枚	特養で使用
平成18年 9月 8日	日本たばこ産業 大阪支店様	法 人	マイルトセブン×100箱	特養で使用